

# ノーマイカーデーひろしま2008 実 施 結 果



ノーマイカーデーひろしま実行委員会

## 2008年度の主な取組

取組①  
マイカー乗るまゝデーを  
毎月 2・12・22 日に拡大

取組②  
割引 1 日乗車券の販売

取組③  
常設型 WEB サイト  
マイカー乗るまゝデーくらぶ  
の開設・運営

取組④  
「交通と環境」を  
テーマにした環境学習

取組⑤  
転入者モビリティ・マネジメント  
の実施

## 取組① マイカー乗るまゝデーを毎月 2・12・22 日に拡大

広島市では、地球温暖化防止につながる行動の輪を広げるため、2005 年度からノーマイカーデー運動に取り組んでいます。

2006 年 7 月に毎月 22 日を「マイカー乗るまゝデー」と定めましたが、さらに強力にこの取組を進めていくため、2008 年 7 月から「マイカー乗るまゝデー」を毎月 2・12・22 日に拡大しました。

マイカー乗るまゝデーには、一人ひとりが交通や環境問題を考え、できる範囲でクルマの利用を控えて徒歩や自転車、公共交通機関を利用するなど、環境にやさしい交通行動をとるよう、広く呼びかけています。

この取組の趣旨や実施日拡大の周知を図るため、ポスター、チラシを掲示・配布したほか、テレビ、ラジオ等で呼びかけました。



▲PR ポスター

また、環境の日ひろしま大会(6/8)、ひろしまバスまつり(9/21)などの関連イベントでパネル展示や

環境クイズを行い、マイカー乗るまゝデーのPRや意識啓発活動を行いました。



▲出店ブースの様子



▲商工センターの広告塔

## 取組② マイカー乗るまゝデー特別乗車券の販売

マイカー乗るまゝデーに限定して使えるお得な特別乗車券を販売し、環境にやさしい交通行動の実践をサポートしました。

アストラムラインでは、マイカー乗るまゝデーのうちの 1 日に限定して 1 日乗り放題の“特別割引 1 日乗車券”を販売しました。



▲特別割引 1 日乗車券

広電電車では、マイカー乗るまゝデーの 3 日間に限定して月単位で乗り放

題の乗車券“エコフリーパス”を販売しました。



▲エコフリーパス

※特別乗車券の販売は、2009 年 3 月で終了しました。

## 取組③ マイカー乗るまァデークラブの開設・運営

7月に、常設型 WEB サイト「マイカー乗るまァデーくらぶ」を開設しました。このサイトは、会員登録すると、クルマの利用を控えた取組報告がいつでもでき、

その人の二酸化炭素削減量などの環境への貢献度を瞬時にフィードバックすることで、環境にやさしい交通行動の実践をサポートします。

### マイカー乗るまァデーくらぶのシステム概要

▼マイカー乗るまァデーくらぶトップページ  
<http://www.noruma-day.jp/>



#### ①登録をする

##### ◆個人登録

パソコンから、トップページへアクセスし、氏名、メールアドレス、ニックネーム等を登録します。個人登録すると、取組内容がわかりやすく表示される“マイページ”を持つことができます。

##### ◆団体登録

5人以上のメンバーを集めて、団体登録することができます。団体登録すると、メンバーの取組内容を集計した団体の取組状況がわかりやすく表示される“団体ページ”を持つことができます。

#### ▼登録画面



#### ②取組報告をする

##### 【STEP1】

マイページ左下のカレンダー右端の“この週を報告”をクリックすると取組報告画面に変わります。



##### ▲マイページ

取組報告完了まで、すべてクリックするだけの簡単なシステムなんだワン！



##### 【STEP2】

取組報告画面から、クルマの利用を控えた時間や代替交通手段の利用時間等をクリックして報告します。



##### ▲取組報告画面

#### ③マイページに反映

取組報告すると、環境への貢献度やカロリー消費量がわかりやすく瞬時にフィードバックされます。



##### ▲マイページ

## みんなで、72 t のCO<sub>2</sub> 排出量を削減することができました。

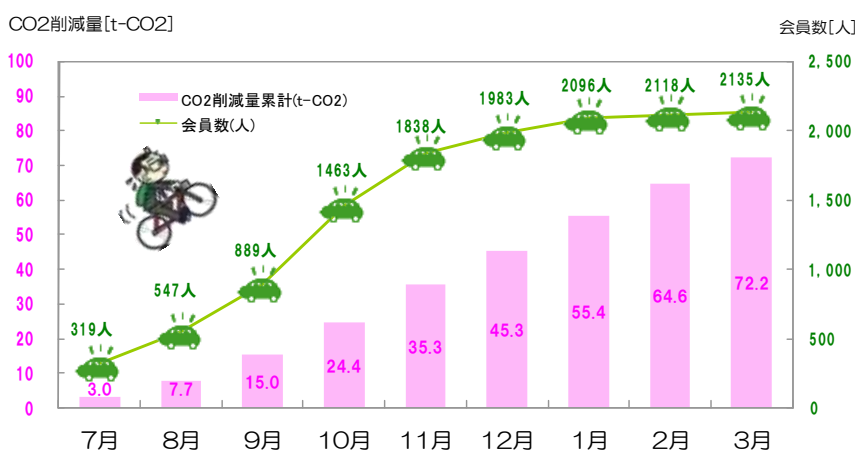
マイカー乗るまァデーくらの登録会員数は、3 月末で 2,135 人となり、団体登録数は、64 団体でした。

取組報告による CO<sub>2</sub> 削減量の累計は、毎月順調に伸び、72.2 t となりました。

これは、約 6.9ha (杉 5.7 千本) の森林が 1 年間に吸収する CO<sub>2</sub> 量に相当します。また、これは約 46 万 km の自動車利用を控えたことに相当し、約 4 万 6 千 l のガソリンを節約したことになります。

みなさんの努力が大きな成果を生み出しました。

(平均速度 26km/h  
平均燃費 10km/l)



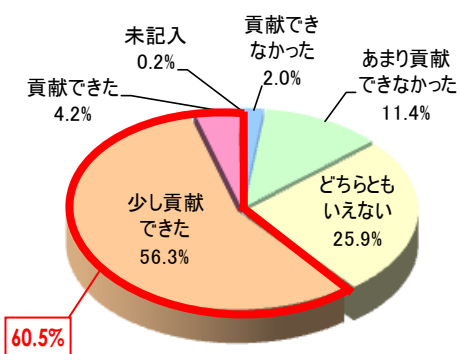
▲登録会員数と CO<sub>2</sub> 削減量の推移

## 多くの方が地球温暖化防止への貢献を実感しています。

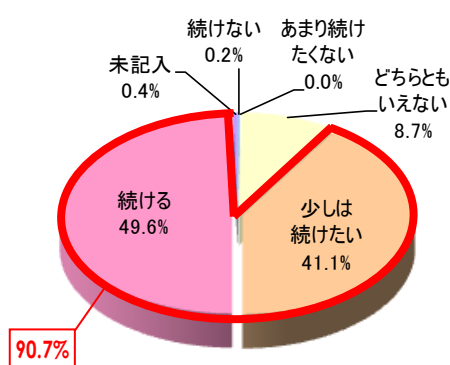
会員の方に、マイカー乗るまァデーくらゐに参加した感想を聞きました。

約 6 割の人が、地球温暖化防止に貢献できたと感じています。

また、約 9 割の人が今後も環境にやさしい交通行動を続けたいと考えています。



▲地球温暖化防止への貢献度に対する感想



▲「環境にやさしい交通行動」の継続意思

### ■たくさんの事業所や大学等が団体登録して取り組んでいます。(名称掲載の了承を得た団体のみ掲載) 順不同

#### 【団体登録している事業所の一覧】

広島シーサイド病院、ソルコム モバイル部、広成建設株式会社、株式会社シンコー、ソルコム サンフレッツ、ソルコム広島支店【迷探偵コナン(光南)】、三菱電機中国支社、(株)明光堂、中国計器工業株式会社、安佐北区役所、ソフトバンクモバイル株式会社(中国)、株式会社 NTT 西日本ー中国、広島ガス株式会社、広島市市民局、消防局、中電技術コンサルタント株式会社、広島修道大学マイカー乗るまァデーくらゐ、広島市教育委員会、西区役所、財団法人広島市水道サービス公社、財団法人広島市スポーツ協会、広島市水道局、ヤマダ電機テックランド安芸坂店、広島市監査事務局、広島市こども未来局、広島市財政局、東区役所、広島市環境局、経済、佐伯区役所、広島市企画総務局、Team あたっ！、ソルコム経理部エコイレブン、広島経済大学マイカー乗るまァデーくらゐ、広島工業大学大学院、病院事業局、五観おやじの会「オヤジラス」、広島市都市整備局、斎木コーポレーション HD 企画、広島市下水道局、広島運輸支局、広島市都市活性化局、広島市健康福祉局、南区役所、ひろでんマイカー乗るまァデーくらゐ、広島国道事務所、安芸区役所、安佐南区役所、中区役所、(株)福山コンサルタント西日本事業部、広島市道路交通局



## 取組④ 「交通と環境」をテーマにした環境学習



▲小学校の授業で使える「交通と環境」学習のノウハウ集

2007 年度に五日市観音小学校で実施した環境学習のまとめとして、“小学校の授業で使える「交通と環境」学習のノウハウ集”を作成し、全市立小学校 140 校に配布しました。

また 12 月には、中国運輸局と広島市交通科学館が連携し、広島電鉄㈱の協力を得て、安北小学校 2 年生 105 名を対象に「交通環境学習」を行いました。児童は、アストラムラインの車両基地の見学や CNG バス

の排ガスが黒くないことを実感するなどの体験学習を実施しました。

併せて、交通科学館のエントランスホールに五日市観音小学校での環境学習を紹介したパネル展示コーナーを設置し、来館者に見てもらいました。(展示期間 12月5日(金)～1月18日(日))



▲CNG バスの排ガスは黒くない！



▲パネル展示の様子

## 取組⑤ 転入者モビリティ・マネジメントの実施(安佐南区・安佐北区)



▲配布した MM グッズ

安佐南区、安佐北区への転入者に対し、バスの路線図や、アストラムライン、JR 可部線の時刻表等のグッズを配布しました。これは、転居をきっかけとして、マイカーに頼り過ぎないライフスタイルの定着を促す“転入者 MM (モビリティ・マネジメント)”という取組です。新生活の開始にあわせて、タイミングよく公共交通に関する情報を提供することで、公共交通の利用促進が期待できます。

2008 年 4 月から、安佐南区、安佐北区への転入者約 1,400 世帯にグッズを配布し、2009 年 3 月からは、数を増やして、4,000 世帯分のグッズの配布を始めました。

2008 年 4 月から、安佐南区、安佐北区への転入者約 1,400 世帯にグッズを配布し、2009 年 3 月からは、数を増やして、4,000 世帯分のグッズの配布を始めました。



### あとかき



2008 年度は、年度当初から 8 月までガソリン価格が高騰したことを背景に“マイカー離れ”が社会現象化したり、自動車交通量が前年に比べてかなり減少した時期がありました。この結果、ガソリンの高騰は家計を直撃しましたが、その一方で、大気汚染が改善されるなどの効果もありました。

ガソリン価格は、世界的な経済危機を受けて、秋から下落を始め 11 月には高騰前の価格に戻りました。しかしながら、長期的には、石油供給量が減少し、需要に見合う量が確保されないものと予測されています。また、地球温暖化の問題も何も対策を講じなければ、一層深刻化するものと危惧されます。

こうしたことから、マイカーに過度に依存しないライフスタイルの構築が以前よりも増して重要となっています。実行委員会では、今後さらに広報活動の充実強化やキャンペーンの展開などにより、マイカー乗るまゝデーくらぶの会員を増やすとともに、「体験・実践」の輪を広げていくことにより、更なる CO<sub>2</sub> の削減を目指します。

～ 地球のため、子供たちのため、私たちにできることがある... ～

◎ノーマイカーデーひろしま実行委員会

経済産業省中国経済産業局、国土交通省中国運輸局、国土交通省中国地方整備局、環境省中国四国地方環境事務所広島事務所、広島県、広島県警、広島市、西日本旅客鉄道㈱、広島電鉄㈱、広島高速交通㈱、(社)広島県バス協会、広島商工会議所、広島環境サポーターネットワーク

<http://www.city.hiroshima.jp/koutsuu/noruma-day/>

◎この資料についての問合せ先は、

広島市道路交通局

都市交通部公共交通計画担当

TEL082(504)2384/Fax082(504)2426

E-mail koutsubu@city.hiroshima.jp

この紙は再生紙を使用しています。